

# 平成25年度事業報告書

## I：植物園及び植物に関する科学技術の振興や自然環境の保全と文化の発展に貢献するための調査及び研究（公1）

### **(1) 調査及び資料収集**

#### 1. 海外事情調査

テーマは「台湾の熱帯及び高山帯の植物調査」。平成25年10月19日～28日（10日間）に実施した。参加者負担金は23万円。調査先は、基隆海岸（和平島）、陽明山、台北植物園、福山植物園、太魯閣國家公園、合歡山、台中國立自然科學博物館（植物園）、特有生物研究保育中心（南投集集）、辜嚴倬雲植物保種中心KBCC、墾丁國家公園等。國府方吾郎隊長（国立科学博物館筑波実験植物園）を含む7名が参加した。

#### 2. 植物園概要

平成26年度末に正会員（約110園）の基本情報を収集する予定だったが、園の代表者・名簿変更届等と次期が重なり、アンケートが実施できなかった。

#### 3. 国際活動

国際植物園連合（IABG）の活動活発化のため、日本国内の植物園に呼びかけ、IABG会員であることの確認作業と次期IABG役員信任投票を行った。10月にニュージーランドで開催されたIABG国際会議出席は中止。

### **(2) 生物の多様性保全**

#### 1. 種苗交換

会員13園から寄せられた種苗交換リストを作成、植物多様性保全拠点園事業における「絶滅危惧植物種の種苗交換」も一緒に掲載し、正会員に斡旋を行った。なお、「絶滅危惧植物種の種苗交換」は、種子保存拠点園である環境省新宿御苑がとりまとめを行った。データとりまとめは1月。リスト小冊子を2月に配布。緊急を要する種苗交換の申し出はなかった。

#### 2. 植物多様性保全拠点園事業

植物多様性保全委員会の計画に基づき、植物多様性保全拠点園（29園）を中心に保全に関する以下の事業を実施した。

##### ①植物多様性保全に関する事業報告及び意見交換会（第48回大会）

拠点園連絡会議（関東5/16、7/11、10/7・近畿11/9）

保全技術研修会「絶滅危惧植物の特性・保有情報の収集と利用の促進」

（会場：新宿御苑、参加者40名）

講演会「植物の多様性について」（会場：京都府立植物園、参加者117名）

##### ②植物園と市民等が協働で行う現地調査（関東・和歌山・奈良・三重）

絶滅危惧植物種の種苗交換（リスト提供10園）

- ③ニュースレター発行（3回、協会HPに掲載）
- ④日本のナショナルコレクション構築に向けての検討会（2回）、  
植物園コレクション意向調査アンケートの実施

### 3. 絶滅危惧植物の特性情報収集事業

「2. 植物多様性保全拠点園事業」の一つとして、日本産絶滅危惧植物種の生育特性情報の総覧作成を目的とした活動「絶滅危惧植物の特性情報の集約に向けたプラットフォーム作り」（3年計画の最終年度）において以下の活動を行い、報告書を作成した。

- ①「絶滅危惧植物の情報に関するガイドライン」の周知と意見募集
- ②絶滅危惧植物の生育特性情報の入力
- ③絶滅危惧植物保全データベースの制作、試行と公開
- ④津波被災地における絶滅危惧植物の保全を考える会（会場：東北大学、参加者110名）
- ⑤植物園における日本産絶滅危惧植物の保有状況調査（5年計画の1年目）

※2、3の事業の一部は平成25年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施した。

### 4. ワシントン条約にかかる寄託管理事業

経済産業省との「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に基づいて任意放棄され、取得した、生きた植物に係る保護及び育成の寄託管理契約」に基づき、経済産業省から寄託された植物の保護育成を行った。本事業は平成7年から継続、平成25年度の任意放棄植物の受入園数は16園、寄託依頼植物数224株。25年度末での保護育成管理園27園、総保護数3,873株。寄託依頼を受けた植物についての専門的なアドバイスは植物多様性保全委員会が担当した。

### 5. 絶滅危惧植物保全調査

「神代植物公園植物多様性保全センター絶滅危惧植物保全調査検討委託」を東京都より受託し、東京都が選定した118種の優先的に保全すべき植物のうち未調査の40種（本土部10種、島しょ部30種）の絶滅危惧植物について、現地調査で種の生育実態を把握し、保護・増殖カルテを作成、また、昨年アンケート調査を行った種の増減情報の解析・分析し、今後の東京都における優先保全対象種等の保全施策を検討した。

### 6. 夢の折鶴プロジェクト支援

東日本大震災被災地支援を目的とする「花を届ける夢の折鶴プロジェクト」は東京都夢の島熱帯植物館が継続して活動し、正会員にタネの提供協力をよびかけた。なお、26年4月に折り鶴の贈呈式を実施する。

## **(3) 学術や文化の振興**

### 1. 第48回大会行事

開催担当：国立科学博物館筑波実験植物園

会期：平成 25 年 5 月 30 日（木）～6 月 1 日（土）

会場：国立科学博物館筑波研究施設 総合研究棟（茨城県つくば市）

・協会表彰（2 名）

・ガイドツアー：筑波実験植物園スタッフによる植物園研修

・公開シンポジウム（筑波実験植物園開園 30 周年記念）

日時：平成 25 年 6 月 1 日（土）10:00-12:30

テーマ：「絶滅危惧植物を考えよう」、内容：講演 4 題および総合討論

※本シンポジウムは、48 回大会記念講演を兼ねて実施された。

・植物多様性保全事業意見交換会：約 50 名が参加

・研究発表

日時：平成 25 年 5 月 31 日（金）

内容：口頭発表 6 題、ポスター発表 8 題

※研究発表では、筑波実験植物園の関連企画として「植物園の学習支援活動に関するセッション」を行い、6 題の発表があった。

## 2. 植物研究会・技術者講習会

### 第 1 回技術者講習会

開催園 神戸薬科大学薬用植物園

期 日 平成 25 年 5 月 16 日（木）～18 日（土）

場 所 神戸薬科大学薬用植物園、小豆島

参加者 20 名

テーマ 「小豆島の植物観察会」

内 容 見学：神戸薬科大学薬用植物園、マルキン醤油記念館、オリーブ園  
観察会：寒霞溪

### 第 2 回技術者講習会

開催園 名古屋港ワイルドフラワーガーデン・ブルーボネット

期 日 平成 25 年 9 月 26 日（木）～27 日（金）

場 所 名古屋港ワイルドフラワーガーデン・ブルーボネット

参加者 43 名（公開講演会は一般参加者 17 名）

テーマ 「植物園の魅力を伝えるために」

内 容 講演会「植物の魅力を伝える方」～人に感動を与える話術～  
橋本美穂（フリーアナウンサー）

公開講演会「植物の魅力的な展示法」造園家の手法をとりいれて  
阿部容子（ランドスケープ・アーキテクト）

### 第 1 回植物研究会

開催園 京都府立植物園

期 日 平成 25 年 12 月 5 日（木）～6 日（金）

場 所 京都府立植物園 植物会館研修室

参加者 117 名

テーマ 植物の多様性に関する研究会

内 容

講演会（地球環境基金助成活動と兼ねて実施）

「奄美大島の植物の多様性」

前田芳之（奄美大島在住植物研究家）

「DNA から見た植物の多様性」

瀬戸口浩彰（京都大学大学院人間・環境学研究科）

「ジョウロウホトトギス類について」

長澤淳一（京都府立植物園）

意見交換「有用植物の多様性に関する意見交換会」

～ナショナルコレクションの構築を目指して～

## 第2回植物研究会

（北海道薬用植物栽培地および薬用植物資源研究センター北海道研究部の見学会）

期 日 平成25年9月9日(月)～10日(火)

内 容 北海道千歳市東丘のセンキュウ、トリカブトの栽培地、及び医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター北海道研究部にてカンゾウ、センキュウ、ナイモウオウギ等を見学

参加者 32名

## 3. 「日本植物園協会誌 第48号」

平成25年11月発行。48号から発行時期を11月に変更し、誌面をオールカラーにした。また、今後は投稿を通年受け付ける。A4版、450部（協会ホームページに全文掲載するため500部から変更）。会員への配布のほか、都道府県立図書館に寄贈した。

## 4. 分野別活動

### 第一分野（第49回国立大学植物園長会議・植物園協会第一分野拡大施設長会議）

開催園 大阪市立大学理学部附属植物園

期 日 平成25年12月7日（土）

出席者 6名（オブザーバー参加5名）

内 容 各園の現状報告及び27年度の行う50周年記念事業の公開講演会等について意見交換を行った。現状報告に関連し、「教育関係共同利用拠点」として認定を受けるため各植物園の調査を行うことが計画された。なお、第1分野所属園前園長、日本植物学会会長、兵庫県立人と自然の博物館からのオブザーバー参加があった。

### 第二分野（第31回国公立植物園運営会議）

開催園 環境省新宿御苑

期 日 平成25年11月11日（月）～12日（火）

出席者 31名

内 容 外来生物講習「メリケントキンソウについて」

講師：高橋新平（東京農業大学教授）

外来生物講習「ヒアリについて」

講師：岸本年郎（自然環境研究センター）

見学「新宿御苑の菊花壇展」

運営会議 1：集客に向けた工夫、2：環境教育の取り組み、3：技術者の継承、  
4：事故対策と来園者の満足度調査について、5：日本植物園協会の新規事業立案  
並びに収入増加、6：加盟園の経営状況等、事前に第2分野各園から募った提案議  
題をもとに意見交換を行った。

### 第三分野

開催園 伊豆シャボテン公園

期 日 平成25年11月6日（水）～7日（木）

場 所 桜美林学園伊豆高原クラブ会議室

出席者 11名

議 題 2013年度の営業状況に関する情報交換  
2014年度の各園の活動予定（消費税の取扱い等）  
第三分野の取組課題、次年度以降の講習会等について

### 第四分野

開催園 北海道医療大学薬学部附属薬用植物園

期 日 平成25年9月6日（金）

場 所 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス

出席者 15名

議 題 1. トウキ湯もみ見学会の実施報告  
2. 技術者講習会の実施報告  
3. 薬草ガイドブック野外編の作成について

## II：植物の栽培や自然環境の保全等についての教育及び普及啓発（公2）

### **(1) 講演会・シンポジウム・展示会**

#### 1. 植物園シンポジウム

植物園協会発足の地である宝塚市において、日本植物園協会50周年に向けたプレシンポ企画の第一弾として第9回植物園シンポジウムを開催し、市民と植物園の結びつきを訴えた。また、このシンポジウムは、創立の記念樹（チャボトウジュロ）が植栽されている旧宝塚植物園の温室およびその跡地の保全に貢献することを目的とした。

日時：平成25年7月20日（土）

場所：ソリオホール（兵庫県宝塚市）

参加者：250名

テーマ：第9回植物園シンポジウム「見つけよう 植物園の魅力」

講演：

「植物園を楽しむ」岩槻邦男（兵庫県立人と自然の博物館名誉館長）

「ガーデンの魅力」西川綾子（水戸市植物公園園長）

「温室の魅力」久山敦（咲くやこの花館館長）

「生き物のつながりを見つける」 奥山雄大（国立科学博物館植物研究部）

「植物園は学びの入り口」 山住一郎（宝塚植物園を未来につなげる会代表）

## 2. 展示

平成 25 年 4 月 29 日に開催された新宿御苑みどりフェスタに出展し、日本植物園協会が推進する生物多様性・植物の保全等に関する活動報告を行った。来場者総数 17,893 人、当協会展示コーナー来場者数 320 人。

### (2) 普及啓発資料の発行

#### 1. 薬草ガイドブック、書籍

・日本植物園協会第四分野で作成した『薬草ガイドブック』『台所の薬草ガイドブック』の頒布を行い、児童生徒、学生、幅広い市民への知識向上や薬用植物を中心とした植物とその文化に関する普及啓発を行った。また、シリーズ第 3 弾『薬草ガイドブック～野外編』を制作中。

・「日本の植物園における生物多様性保全」の頒布を行った。

### (3) 普及啓発資料の提供

#### 1. パネル貸出

生物多様性・植物保全の普及啓発等を目的としたパネル（データ）の貸出を行い、2 件の利用があった。（福岡市植物園、浜寺公園ばら庭園）

#### 2. 植物園資料ライブラリの運営・更新

植物の画像、教材スライド等の資料を登録・管理・利用する web システムについて、各植物園が資料を登録・検索・ダウンロードできるライブラリの準備を行った。

### (4) キャンペーン

#### 1. 「植物園の日」事業

平成 19 年度より 5 月 4 日「みどりの日」を「植物園の日」と定め、継続して植物園活動を社会に広めていく活動を行い、正会員に配布する広報資材（ノボリ）を 500 枚制作し、協会ホームページの投稿欄に関連行事案内を掲載した。

#### 2. 絶滅危惧植物マーク広報

24 年度に作成・配布した、協会で選定した絶滅危惧植物を示すマークを使ったシール等の活用、および各園での活動についての広報活動を促した。

#### 3. 日本植物園協会 50 周年記念事業

50 周年記念事業委員会で具体的な事業内容を検討し、創立 50 周年記念大会、記念出版物発行、記念切手、50 周年記念展を主な実施内容として計画を立て、準備を進めた。

### (5) 表彰

#### 1. 表彰

平成 25 年度第 48 回大会にて下記の協会表彰を行った。

坂崎奨励賞

東京大学大学院理学系研究科附属植物園 出野貴仁

「絶滅危惧植物の収集、保存」

広島市植物公園 島田有紀子

「ペゴニアの繁殖に関する研究」

Aboc・CULTA 賞

国立科学博物館筑波実験植物園 国府方吾郎

「東アジア植物レッドリストの作成による地域共通の学名の使用への貢献」

### Ⅲ：その他目的の達成に必要な事業

#### (1) 後援及び協賛等

##### **【後援】** (9 件)

1. 主催団体 公益社団法人日本動物園水族館協会  
事業名「いのちの博物館の実現に向けて-消えていいのか、日本の動物園・水族館-」  
※平成 24 年度から継続
2. 主催団体 フラワー・ブラボー・コンクール実行委員会  
事業名「平成 25 年度フラワー・ブラボー・コンクール (FBC)」
3. 主催団体 IUCN ラン専門家部会日本支部  
事業名 第 6 回「みんなで守ろう日本の野生ラン」
4. 主催団体 公益財団法人高知県牧野記念財団  
事業名「世界の三大穀物展～イネ・ムギ・トウモロコシ」
5. 主催団体 公益財団法人広島市みどり生きもの協会  
事業名 特別企画展「蘭花譜展」
6. 主催団体 クリスマスローズの世界展実行委員会  
事業名「第 12 回クリスマスローズの世界展」
7. 主催団体 株式会社夢舞台、兵庫県立淡路夢舞台温室  
事業名「淡路夢舞台ラン展 2014」
8. 主催団体 特定非営利活動法人のとキリシマツツジの郷  
事業名「能登に残る江戸の園芸～のとキリシマツツジ展～」  
「のとキリシマツツジシンポジウム～園芸文化の保護と育成～」
9. 主催団体 沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会  
事業名「平成 25 年度沖縄国際洋蘭博覧会」

##### **【協賛】** (1 件)

1. 主催団体 宝塚植物園を未来につなげる会  
事業名「植物園フォーラム 花のまち宝塚」

#### (2) ホームページ活用及び広報活動

- ・情報公開、各事業の告知・報告のため協会ホームページ更新を行った。
- ・JABG ニュース (各 2～3 ページ) を会員に配布した。(発行 4 回、ホームページ委員会作成)

### (3) 諸会議

#### 1. 第48回定時総会

日時 平成25年5月30日(木)

会場 国立科学博物館筑波実験植物園(茨城県つくば市)

#### 2. 役員会・委員会等

##### 【理事会】

第1回臨時理事会(書面)	平成25年5月24日
第1回通常理事会	平成25年5月30日
第2回臨時理事会	平成25年5月30日
第3回臨時理事会(書面)	平成25年8月30日
第4回臨時理事会(書面)	平成25年10月18日
第5回臨時理事会	平成25年12月9日
第2回通常理事会	平成26年3月14日

##### 【執行役員会】

第1回執行役員会	平成25年8月6日
第2回執行役員会	平成25年10月21日
第3回執行役員会	平成25年12月9日
第4回執行役員会	平成26年2月20日

##### 【監査】

- ・平成24年度事業及び決算報告について平成25年5月8日に監事による監査を実施した。
- ・平成25年度の業務及び財産の状況等について、平成26年2月4日に監事による中間監査を実施した。

##### 【委員会】

###### ・研究発表委員会

第1回委員会 平成25年5月13日

議題：48回大会研究発表。協会誌の改訂(スケジュール、体裁、投稿要領の修正等)。

委員の補充および増員。48号協会誌特集について。

第2回委員会 平成25年7月11日

議題：協会誌48号の編集について

第3回委員会 平成26年2月7日

議題：平成26年度の活動について。投稿要領の改訂。協会誌編集マニュアルについて。49回大会研究発表について。

###### ・植物多様性保全委員会

第1回委員会 平成25年6月28日

議題：25年度拠点園ネットワーク事業。保有状況調査の実施方法。絶滅危惧植物の特性情報収集。国連生物多様性の10年日本委員会認定事業の応募について。次年度以降の地球環境基金助成申請。

第2回委員会 平成25年12月6日(場所：京都府立植物園会議室)

議題：保有状況調査の進捗。地球環境基金報告書。生育特性情報の収集活動。ナショ

ナルコレクション検討について。津波被災地の植物保全集会。情報取扱いガイドライン。ニュースレター発行。助成金申請について。拠点園ネットワーク事業の進捗等について。

- ・国際交流推進委員会  
平成 25 年度海外事業調査（台湾）を実施した。次年度計画についてメール会議等で検討し、「ミャンマー」に決定した。
- ・ホームページ委員会  
JABG ニュースを作成した。
- ・坂崎奨励賞選考委員会、Aboc・CULTA 賞選考委員会  
→協会表彰候補者選考委員会（新規程に従い、委員会を統合）  
第 1 回委員会 平成 25 年 10 月 21 日  
議題：表彰事業の概要、委員会規程、協会表彰規程・内規、選考の工程、表彰候補者推薦依頼文等について検討した。  
第 2 回委員会 平成 25 年 2 月 3 日  
議題：平成 26 年度表彰者の選考を行った。
- ・植物園シンポジウム企画委員会  
第 10 回植物園シンポジウムは第 49 回大会の際に富山県中央植物園と共催の形で企画することになり、準備を進めた。
- ・50 周年記念事業委員会  
第 1 回委員会 平成 25 年 5 月 29 日（場所：筑波実験植物園）  
50 周年記念事業の概要を決定した。（1；創立 50 周年記念大会、2；記念出版物、3；記念切手、4；50 周年記念展）
- ・選挙管理委員会  
次年度役員候補者選挙の準備、開票を行い、会長への報告を行った。  
第 1 回選挙管理委員会 平成 25 年 10 月 3 日  
議題：委員会活動についての理解と確認、工程設定  
第 2 回選挙管理委員会 平成 26 年 1 月 10 日 投票依頼書発送  
第 3 回選挙管理委員会 平成 26 年 2 月 17 日 開票
- ・将来計画検討委員会を新規設置（第 5 回臨時理事会決議）。  
平成 26 年 2 月 6 日に東京大学大学院理学系研究科附属植物園で準備会議を行った。

#### (4) 特記事項

- ・文部科学省生涯学習政策局による平成 25 年度社会教育功労者として、当協会が推薦した石田源次郎氏（元副会長、名誉会員）が表彰された。
- ・環境省自然環境局野生生物課が平成 25 年度に設置した「動植物園等公的機能推進方策のあり方検討会」の委員に倉重祐二氏（新潟県立植物園）を推薦し、同検討会への協力を行った。
- ・日本植物園協会創立記念樹（チャメロプス 2 株）を咲くやこの花館に移植した。